

「日本農業の現状に学ぶ」

「食をささえる地域農業について学習会」 ご案内

食と農のパネルでは、継続できる地域農業のあり方を考えあうために、都市近郊で後継者が育っている直売所「げんきの郷」、後継者がいるピーマン生産者「近藤園芸」の調査見学会をしました。今回の学習会は、日本農業の現状を専門家の方よりお聞きして学ぶ、2つの事例の調査見学会よりの気づきと合わせて、継続できる農業について、さらに考え合うことを目的に開催します。皆さん、是非ご参加下さい。

- ◆日程：2013年7月13日（土）
13時30分頃～15時30分
- 会場：ワークライフプラザれある
6階大会議室

◆講師 荒井 聡 氏

岐阜大学応用生物科学部教授・地域と協同の研究センター理事
先生は、家族経営と地域農業発展のための社会的条件に関する研究を主要課題とし、農業生産の組織化方策、地産地消運動の発展方法について実証的な研究をされている。



内容：1時間くらいテーマに沿ったお話しをお願いしています。
テーマに沿って、日本の水田農業を中心にした農業の現状、そしてTPPの問題などその後、参加者との質疑をお願いして、意見交流をおこないます。



地域と協同の研究センター

食と農パネル

事務局 Tel 052-781-8280 Fax 052-781-8315
担当 伊藤、鈴木

参加申し込み

○FAX又はお電話で申し込みください。

(電話：052-781-8280、FAX：052-781-8315)。

お名前 (複数でも可)	お電話	所属 (団体名・職員・組合員・その他)

いただいた個人情報は、企画に関する連絡がある場合にのみ利用させていただきます。